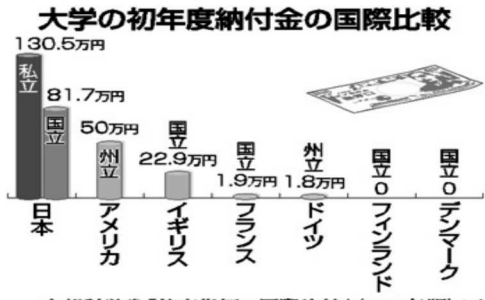


進学
の夢を
奪うな！

世界一高い日本の学費 負担軽減へ運動広がる



6月24日、早稲田大学大隈講堂前で訴える田村智子さん（参院東京選挙区）、谷川智行さん（衆院比例東京ブロック）、富田なおき。この日は、法政大学、日本大学、上智大学の近くでも訴えました



文部科学省「教育指標の国際比較」(2006年版)から

日本共産党は今年4月、経済的理由で進学をあきらめる若者をなくすための緊急策として、「学費提言」を発表し、対話と共同を進めています。「まったく同感です。とくに学生への直接助成制度は重要です」(国庫助成教授会連合)など、共感が広がっています

「学費提言」の主な内容

公立高校の授業料減免を広げる。私立高校授業料を減免する「直接助成制度」をつくる。
 国公立大学の授業料減免を広げる。私立大学の授業料負担を減らす「直接助成制度」をつくる。
 国の奨学金をすべて無利子に戻し、返済猶予を拡大する。経済的困難をかかえる生徒・学生への「給付制奨学金制度」をつくる。
 「学費の段階的無償化」を定めた国際人権規約を批准する。

日本共産党の「学費提言」に共感広がる

「大学生の学費の負担軽減、奨学金の拡充を」と、文部科学省への要請に参加した富田なおき(6月24日)



6月24日、日本共産党東京都委員会と民青同盟東京都委員会が、文部科学省に、大学生の学費負担軽減や奨学金の拡充などを要請しました。

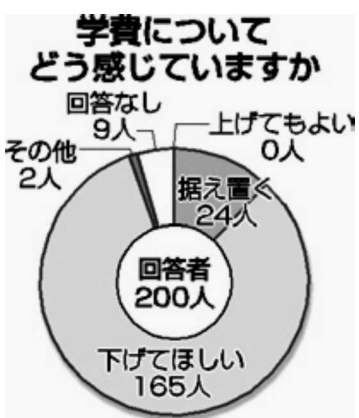
田村智子さん(参院東京選挙区)が、早稲田大学でのアンケート調査の結果を紹介し、「学生と家族の人生をゆがめかねない高学費負担の軽減に正面から取り組んでほしい」と訴えました。

「富田なおきが民青同盟のみなさんと文科科学省へ要請」と訴えました。

文科省の担当者は、「学費減免や私学助成の大幅拡充は困難。奨学金の貸与制は『借ったものは返す』という教育的価値も考えておこなっている」といいます。

参加者からは、「経済的理由で進学を断念したり中退する人が多い現状をどう考えているのか」という声が上がりました。

早稲田大学・学費ZEROネットがアンケート調査



「高学費は人生を左右する問題」

今年5月、早稲田大学の学生でつくる「学費ZEROネット」が大学キャンパスで学生からアンケートを集めました。2日間で200人の学生から回答が寄せられました。

早稲田大学の学費は、1年生が納める初年度納付金が118万円(文系)〜161万円(理系)。

寄せられた声は、「家賃が払えません」「昨日、水道を止められました」「ガス代が払えず、

全国の私立大学では、毎年1万人が経済的理由で中退。貧困と格差の拡大のほか、「世界一高い」といわれる日本の学費が、若者たちの夢を奪っています。7月5日に東大で学生・教職員・父母によるシンポジウムが開かれるなど、「学費・教育費の負担軽減めざして力をあわせよう」と運動が広がっています。

毎日水風呂に入っている」「親が自営業で家計が苦しいので学費を下げしてほしい」など深刻で切実です。

ZEROネットの学生たちは、「人生を左右する問題。学費値下げを」とがんばっています。

高学費で困っていること、不安なことは？(200人の複数回答)

学習時間を削っている	...18人
必要な教科書が買えない	...23人
バイトを多めにしている	...41人
食費を削る	...49人
バイトで睡眠時間を削っている	...17人
大学院進学をあきらめた	...15人
親や兄弟に苦勞をかけてつらい	...90人
兄弟や友人に、高学費のせいで大学進学をあきらめた人がいる	...18人
一人暮らしをあきらめ通っている	...46人

日本共産党衆議院東京1区若者相談室長

富田なおき

事務所ニュース

8 2008.7.20
 発行：富田なおき事務所
 〒162-0065 新宿区住吉町11-25
 TEL 03-3357-3392 FAX 03-3353-4912
 E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp

東京生存権裁判

東京地裁が不当判決

控訴し、ひき続けたたかへ



70歳以上の生活保護受給者に支給されていた「老齢加算（月に約1万8千円）」の廃止で、憲法25条で保障された「健康で文化的な最低限度の生活」ができなくなったとして、新宿区百人町在住の横井邦雄さんなど、東京の生活保護受給者12人が区や市に処分取り消しを求めた訴訟（生存権裁判）で、東京地裁は6月26日、「廃止には合理的な根拠がある」などとして、訴えを棄却する判決を出しました。

老齢加算や母子加算の廃止をめつぐでは、現在、全国10カ所で115人が裁判をおこし、今回が最初の判決です。

生存権侵害の実態見えていない

原告・弁護団は、判決を受けて声明を発表し、生活保護基準以下の生活を

を強いられている国民の貧困を解決するのではなく、この貧困状態に合わせ生活保護基準を切り下げ、格差と貧困を拡大する政府の不当な政策を是認したものの、老齢加算の重要な役割を何ら理解することなく、老齢加算の廃止で高齢保護受給者の生存権を侵害している実態から目を背け、行政の違憲・違法な措置を承認した不当なものだ、と批判しました。

原告・弁護団は、控訴してひき続き全力でたたかう決意を表明しています。

東京高裁あての署名などひき続き活動を

生存権裁判を支える新宿の会

7月9日、この裁判を当初から支援してきた「生存権裁判を支える新宿の会」が総会を開きました。

総会では、地裁判決を受け、東京高裁あてに新たに署名を集め、裁判の傍聴や、要請行動・宣伝活動をおこない、生存権裁判の控訴審の支援活動を広げていくことを決めました。

千代田区お茶の水・外神田後援会

区政報告と懇談のつどい



7月12日、富田なおきの地元で開かれたつどいで、「これまで4000人を超える方たちからお話を聞いてきました。みなさん本当に生活が切実になっているのを実感し、日本共産党への大きな期待を感じます」とあいさつ。福山和夫区議がスライドを使って区政報告をおこないました。

懇談では、再開発問題や環境問題、国分寺でのビラ配布弾圧のなどについて質問が出され、福山区議、富田なおきが答えました。そして、「やっぱり、国会で共産党の議席が増えないとだめだ」との激励が寄せられました。



港区お台場で日本共産党の政策を訴える
(7月10日)

新宿区・霞ヶ丘団地で「しんぶん赤旗」読者会 (7月6日)

両宮たけひこ区議と一緒に参加。後期高齢者医療制度、消費税、団地のことなど、話は多岐に渡りました。



富田なおきの生いたち

高校生活で唯一・最高の楽しみ、トロンボーン

入学した高校は山形県内でも有数の進学校で、理科や生物もほとんど実験などせず、ペーパーテストに追われ、違和感をもちました。一方、社会の出来事に関心が芽え始め、将来は社会科学方面に進もうと考えるよう



県大会突破をめざし、練習に熱中

になりました。学校中が勉強に追われる中で、唯一・最高の楽しみが吹奏楽部でした。小学校のとき見たトロンボーンにあこがれていました。

吹奏楽部が東北大会に出られる枠は、県で2校

しかなく、必死に練習しました。残念ながら3年のとき3位に終わりました。卒業してからも、帰省をかねて吹奏楽部の手伝いや応援に。2年後輩は見事県大会を突破し、私たちの夢を果たしてくれました。